

## 大分県

届出事業所からの「水域へのヒトに対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（令和4年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大分市	20,561,003	ヒドラジン 20,185,600	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 140,000	フェリムゾン 46,000
2	別府市	126,980	砒素及びその無機化合物 110,010	ほう素化合物 11,017	ふっ化水素及びその水溶性塩 5,468
3	日田市	108,929	EPN 51,850	チウラム (チラム) 3,111	1,1,2-トリクロロエタン 3,111
4	佐伯市	52,632	EPN 35,836	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 を除く。) 2,108	6価クロム化合物 2,050
5	国東市	32,878	EPN 12,903	6価クロム化合物 1,845	鉛化合物 890
6	津久見市	28,194	EPN 9,690	1,1,2-トリクロロエタン 3,910	6価クロム化合物 1,400
7	臼杵市	23,559	EPN 14,586	1,4-ジオキサン 868	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 を除く。) 858
8	速見郡日 出町	19,440	EPN 13,600	6価クロム化合物 800	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 を除く。) 800
9	杵築市	17,350	EPN 6,630	6価クロム化合物 985	鉛化合物 460